学校番号	319

令和３年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	地学基礎　新訂版（実教出版）						
副教材等	ベストフィット地学基礎　New Edition（実教出版） ビジュアルプラス地学基礎ノート（実教出版） 七訂版　スクエア最新図説地学　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地球のとりまく太陽系や宇宙について興味を持ち、私たちが住んでいる地球の動きやさまざまな地質的な現象について理解しましょう。授業では覚えることもたくさん出てきますが、美しい天体や地球でおこる現象の画像・映像もでてくるので、それらをよく見て頭の中でイメージできるようにすれば覚えやすくなるでしょう。また、ただ覚えるだけでなく、それらの知識を関連づけてほかの分野で活用したり、知識の幅を自ら広げていくように努力しましょう。

２　学習の到達目標

１．日常生活や社会との関連を図りながら、宇宙の誕生から現在の地球に至るまで時間的・空間的な広がりの中で捉える。
２．地球や地球を取り巻く環境に対して目的意識をもって観察を行い、地学的に探求する能力と態度を育てる。
３．地学の基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、地学的な見方や考え方を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:実験･観察の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	地球を中心に、地球をとりまく宇宙や太陽系について関心を持ち、科学的に理解する。	地球を主とした地学的な現象を考察し、それぞれの学習内容を関連付けて理解・表現できる。	地層や岩石などの観察に必要な技能を身につける。	地球や宇宙、地質的な知識を身に付け、その知識を活用し、個々の知識を関連づけて理解できる。
評価方法	学習状況の観察 板書ノート 学習プリント 調べ学習ノート 問題集 定期考査の結果	学習状況の観察 板書ノート 学習プリント 調べ学習ノート 問題集 定期考査の結果	学習状況の観察 板書ノート 学習プリント 調べ学習ノート 問題集 定期考査の結果	学習状況の観察 板書ノート 学習プリント 調べ学習ノート 問題集 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	1章　地球の構成と運動	1節　地球の形と大きさ 1 地球の形と大きさを調べる 2 地球の形				○	a:地震の発生と火山活動の仕組みについて興味を持ち、プレートの運動と関連づけて知ろうとしている。 b:地震発生と火山活動の仕組みをプレートの運動と関連付けて説明できる。 c:火成岩の観察を通じて鉱物や組織から火成岩を分類することができる。 d:地球の形・大きさの特徴や地球内部の構造について理解している	学習状況の観察 板書ノート 学習プリント 調べ学習ノート 問題集 定期考査の結果
		2節　地球内部の構成 1 地球内部の層構造 2 地球内部を構成する物質 3 地殻を構成する岩石			○	○		
		3節　プレートの運動 1 プレートテクトニクス 2 大地形の形成	○					
		4節　火山と地震 1 火山活動 2 地震活動	○	○				
	2章　地球の変遷	1節　地層と化石 1 地層のでき方 2 地質構造の形成 3 化石と地質時代の区分	○		○	○	a:　地層が形成される仕組みや地球環境の移り変わりについて興味・関心を示している。 b:時代を経るごとに生物が多様化し，いかにうまく環境に適応してきたかを考えることができ，生命の大切さについても判断できる。 c:地層や岩石の観察を通じて過去におこった出来事やその形成などに関することを調べることができる。 d:地質構造や不整合が過去の地質変動を推定する手がかりとなることが理解できる。	学習状況の観察 板書ノート 学習プリント 調べ学習ノート 問題集 定期考査の結果
2学期		2節　古生物の変遷と地球環境 1 初期生命と大気の変化 2 多様な生物の出現と脊椎動物の発展 3 哺乳類の繁栄と人類の発展		○				
	3章　大気と海洋	1節　大気の構造と運動 1 大気 2 大気の構造 3 大気中の水とその状態 4 大気の状態 5 雲	○				a:大気の構造や海水の運動など地球規模の自然環境の変化が科学的に理解できる。 a 海洋について関心を持ち，海洋の特徴を学習した上で，海洋と大気の関係についても調べようとする。	学習状況の観察 板書ノート 学習プリント 調べ学習ノート 問題集 定期考査の結果

		2節　大気の大循環 1 地球のエネルギー収支 2 大気のエネルギー収支 3 大気大循環 4 温帯低気圧と熱帯低気圧	○	○			b:大気の構造を知り，気象現象がどのようなメカニズムで引き起こされるのかについて，探究的に学習しようとする。 b:海洋の特徴について考えることができ，海洋と大気の関係についても推定することができる。 c:風向の変化から台風の進路を予想したり，天気図から天気の変化を予想したりすることができる。 d:海洋と海水についての知識を身につけ，水圏と気圏が互いに関連しあっていることが理解できる。	
		3節 海洋の構造と 海水の運動 1 海洋の層構造 2 海水の運動と循環	○	○		○		
		4節 日本の四季の 気象と気候 1 気象と気候 2 日本の四季		○	○			
	4章 太陽系と宇宙	1節 太陽系の中の地球 1 太陽系の概観 2 太陽系の誕生と 惑星の分類 3 太陽系の天体の素顔 4 惑星の構造		○	○		a:宇宙や太陽系の誕生に関心を持ち、天体の特徴を知ろうとする意欲を持っている。 b:恒星としての太陽の進化を考えることができている。 c:太陽の表面について、観察しその特徴を捉えることができる。 d:宇宙・天体・銀河の誕生・進化・特徴について理解している	学習状況の観察 板書ノート 学習プリント 調べ学習ノート 問題集 定期考査の結果
		2節 太陽とその進化 1 太陽のすがた 2 太陽をつくる物質と エネルギー 3 太陽の明るさと活動 4 太陽の誕生 5 これからの太陽	○		○			
		3節 宇宙のすがた 1 宇宙の構造 2 宇宙の誕生				○		
3学期	第5章 地球の環境	1節 日本の自然環境 1 日本列島がつくる 自然の特徴 2 日本列島を襲う さまざまな自然災害 3 自然がもたらす 災害と恩恵	○		○	○	a:日本の自然環境や災害が、人間生活と深くかかわっていることに気づき、興味・関心を示している。 b:地球環境の変化を人間生活と関連付けて科学的に考えることができる。 c:自然環境の変化をデータを用いて科学的に考察できる。 d:エルニーニョ現象，オゾン層のもたらす影響を把握することができる。	学習状況の観察 板書ノート 学習プリント 調べ学習ノート 問題集 定期考査の結果

		2節 地球環境の科学 1 人間活動がもたらす環境問題と自然変動 2 気候変動と地球温暖化 3 地球規模の物質循環 4 地球環境問題と人間社会への影響 5 これからの地球環境と地球の未来		○	○	○	d:地球規模の気候変動と異常気象を把握することができる。 d:人口増加による問題点，水循環の変化がもたらす人間社会への影響を理解できる。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:実験・観察の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。